

(ザンビア自然農法開発計画) ニュースレター

2026年5・6月号

在来種トウモロコシの種子



2025～2026年度農業シーズンの成功

2025～2026年度の農業シーズンは、プロジェクト地域全体の農家にとって大変実り多い一年となりました。十分な降雨に恵まれたことで収穫量が大きく向上し、多くの家庭で食料事情が改善されるとともに、生活の安定にもつながりました。ザンビア全体でも大豊作となり、大統領自らがその成果を発表するなど、好天に恵まれた一年であったことが広く認められました。

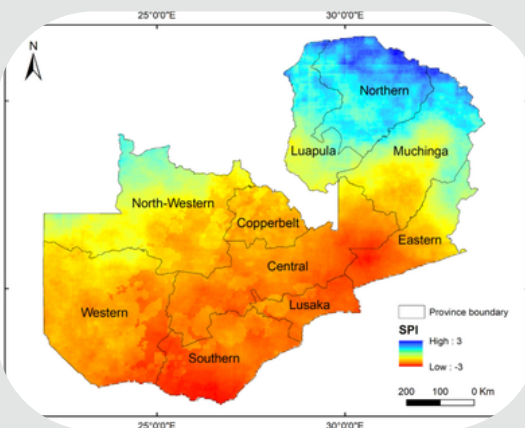
自然農法種子バンクの再建

2024～2025年度の厳しい農業シーズンでは、多くの種子を失いましたが、NADPZプロジェクトは自然農法の種子バンクを無事に再建することができました。これは、農家への支援体制をさらに強化するとともに、今後も質の高い種子を安定して提供していくための大きな一歩です。2026～2027年度も引き続き、種子の保存・増殖に取り組み、さらに充実した種子バンクの構築を進めてまいります。

2026～2027年度農業シーズンへの備え

今年は豊作に恵まれましたが、政府および気象局は、次年度はエルニーニョ現象の影響により降雨量が平年を下回る可能性があるとの予測をしています。

そこでNADPZでは、農家が次のシーズンに備えられるよう、キャッサバをはじめとする耐乾性作物の導入を進めるとともに、持続可能な自然農法の普及を引き続き推進していきます。



未来に向けて

私たちは、来シーズンも天候に恵まれることを願っています。しかし、どのような気象条件になろうとも、NADPZプロジェクトは農家への支援を続け、地域社会の強靱性を高め、本年度の成功をさらに発展させていくことを使命としています。

2025～2026年度の成果は、好ましい気象条件と持続可能な農業、そして地域の人々の強い協力が結びついたとき、大きな成果を生み出せることを示しています。来シーズンには新たな課題も予想されますが、綿密な計画、継続的な支援、そして農家の皆さんの力強い努力によって、将来に向けてより強く、より食料安全保障に優れた地域社会を築いていけると確信しています。



地域支援と能力向上

変化する気候を理解する

この20年間、NADPZは気候変動が農業に与える影響を現場で直接見続けてきました。かつては比較的安定していた季節の移り変わりは、近年では予測が難しくなり、ある年は干ばつ、翌年は豪雨や洪水に見舞われるなど、大きく変化しています。このような不安定な気候は、農家が長期的な計画を立てることを非常に困難にしています。ある年に豊作であっても、翌年には作物の不作や食料不足、さらには大切な種子を失うという事態が起こり得ます。

こうした状況は、単に天候に恵まれることを期待するのではなく、農家自身の「環境変化に対応する力（レジリエンス）」を高めることがいかに重要であることを示しています。気候変動が今後さらに進む中でも、地域社会が安定した食料を確保し、経済的にも持続できるよう、農業のあり方そのものを進化させていくことが求められています。



今後の取り組み

これらの課題に対応するため、NADPZでは2026～2027年度農業シーズンの最重要課題として、気候変動への適応力（レジリエンス）の強化を掲げています。まず、降雨量の少ない年でも安定した収穫が得られるよう、耐乾性作物の生産拡大を進め、各家庭の食料安全保障の向上を目指します。

特に重点を置くのがキャッサバの導入・普及です。ザンビアではトウモロコシが主食ですが、キャッサバは干ばつに強く、北部州ではすでに広く食べられています。NADPZは、農家がキャッサバを栽培し、日常の食生活に取り入れられるよう支援するとともに、将来的にはキャッサバ粉への加工や、高付加価値商品の開発を進め、国内市場だけでなく輸出市場への展開も視野に入れています。

また、ヒマワリなどの収益性の高い作物に加え、干ばつに強く土壌改良にも役立つ樹木の植栽も推進していきます。ヒマワリ油の需要は年々高まっており、ヒマワリ栽培は農家の収入源を多様化するとともに、各家庭の経済的な安定にも大きく貢献します。このように、食料作物と収益作物を組み合わせることで、一つの作物だけに依存するリスクを減らし、より安定した生計を築くことができます。

これらの取り組みを通じて、NADPZは変化する気候にも対応できる持続可能な農業システムづくりを進めています。作物の多様化、土壌の健全化、新たな収入機会の創出を推進することで、気候変動という課題の中であっても、農家の皆さんがより安全で持続可能な未来を築けるよう支援してまいります。

2026年 ダンドゥア・ブ ロックショー



ムババラ女性農民組合 (Mbawofa) コミュニ ティサイトで開催

毎年開催されるダンドゥア・ブロックショーは、農業省と中小企業開発省（旧協同組合省）の共催による農業展示会です。この展示会は、農家が一年間の成果を発表し、お互いに知識や経験を交換するとともに、その年の農業シーズンを祝い合う貴重な機会となっています。

2026年は、政府の選定により、ムババラ女性農民組合 (Mbawofa) コミュニティ・プロジェクトサイトが会場となりました。この会場は、充実した施設を備えているだけでなく、地域交流と農業学習の拠点として大きな役割を果たしていることが高く評価されました。今年のブロックショーでは、2025～2026年度農業シーズンの成功が祝われるとともに、地域住民が協力して農業を発展させていくことの重要性が改めて確認されました。

地域の成果を発信

今年の展示会では、NADPZの女性メンバーが自然農法によって育てられたさまざまな農産物を展示しました。展示された作物は、地域農家の努力、創意工夫、そして日々の献身を象徴するものであり、同時に、より豊かな農村づくりにおいて女性が果たしている大切な役割を示すものとなりました。

また、この展示会は農家同士が経験を共有し、互いに学び合い、生産性と持続可能性を高めるための実践的な農法について意見交換を行う貴重な機会にもなりました。

ともに未来を育む

ダンドゥア・ブロックショーは、多様な農業技術を紹介するとともに、持続可能な農業の普及を目的としています。NADPZはこれからも農家の皆さんを支え続け、さらに多くの地域社会へ自然農法を広げていきたいと考えています。私たちは、自然農法こそ持続可能な農業の未来であり、豊かな土壌を育み、農家の暮らしを向上させ、より強く持続可能な地域社会を築く力になると確信しています。